

安土城研究

～歴史的建造物における数と象徴から導く～
5年 ●● 指導教員 ●●

目的

歴史的建築物における数とその象徴することを、日本とヨーロッパの建築物及び歴史から読み解き、安土城におけるそのパフォーマンスについて考察する。

動機

私はダンブラウン作品「ダビンチコード」や「天使と悪魔」を読み、以前から宗教的な象徴や数について興味を持っていた。そこで八角形天守閣の存在が提唱されている安土城について数と象徴の観点から研究し、そのパフォーマンスにおける新たな説を提唱したいと考えた。

方法

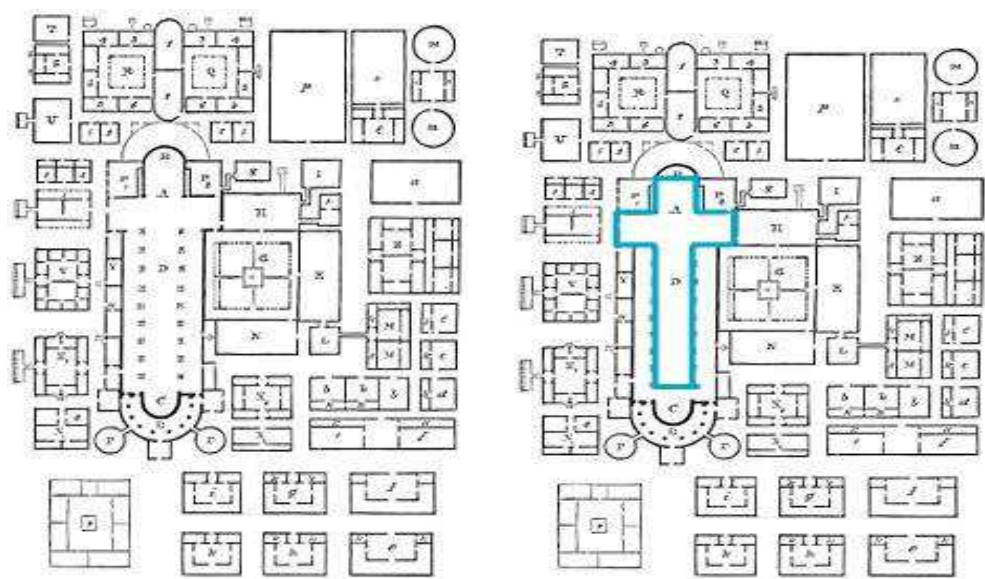
- 論文や書籍、インターネットから西洋及び日本における建築と数・象徴の関係、そして実際の建築物における使用例を調べる。
- 上で調べたことを用いて安土城の図面・当時の状況・信長の性格などから考察する。

調査1 幾何学の発展

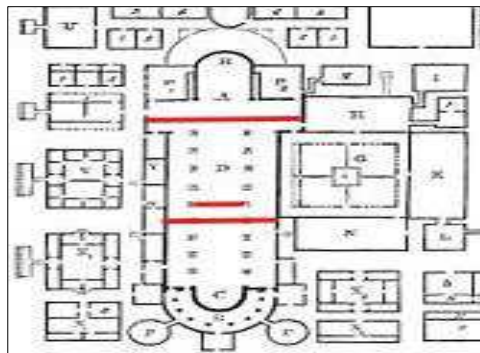
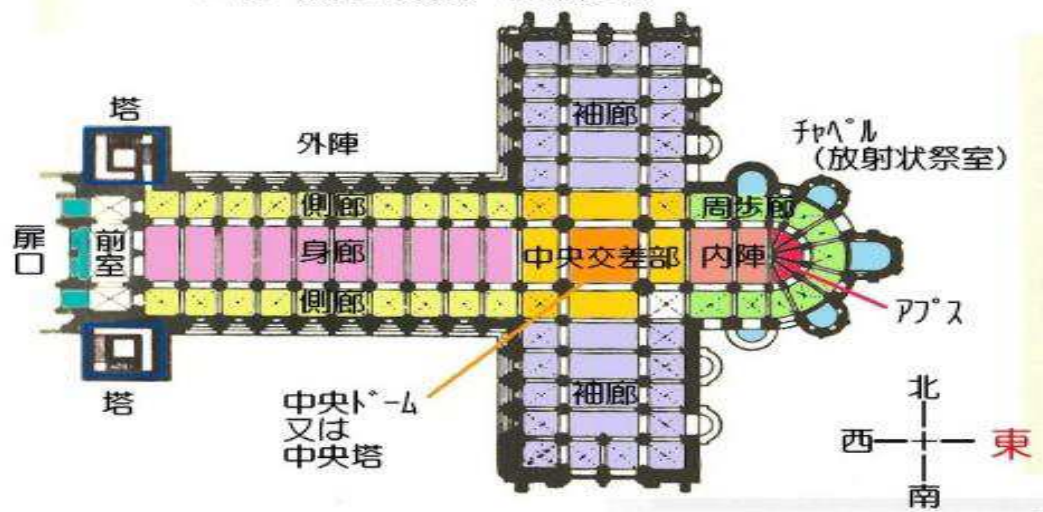
ギリシャ時代には、神の国の構造原理の視覚的な表れが幾何学であり、幾何学は人々の心を霊的な天上世界へ導く手段と考えられた。

「あなた(神)は、長さや、数や、重さにおいてすべてに均衡がとれるように計らわれた」(旧約聖書続編、知恵の書11・20)

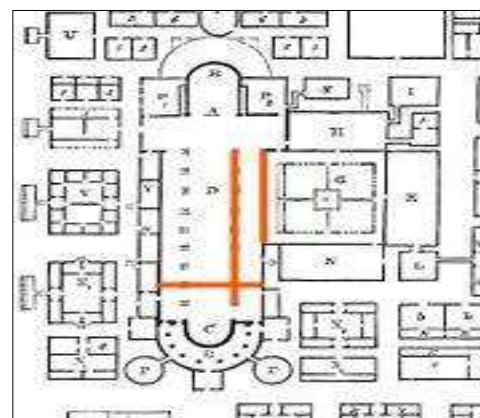
調査2 ザンクト・ガレン修道院



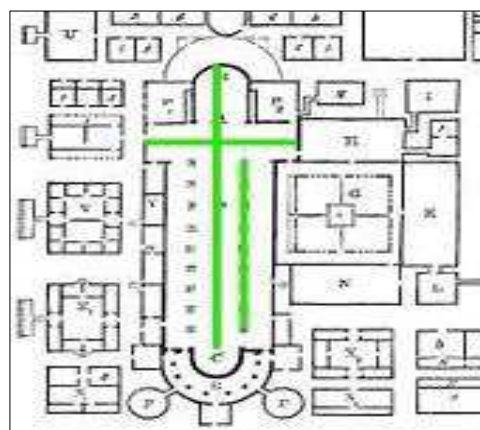
バシリカ型教会 (3廊式)



身廊全幅：
側廊込の
身廊部全幅：
袖廊全長
＝40：80：120



側廊込の
身廊部全幅：
回廊全長：
身廊全長
＝80：100：180



袖廊全長：
身廊全長：
教会堂全長
＝120：180：300

40：80：120

80：100：180

120：180：300

=

2：4：6

4：5：9

6：9：15

主要部の寸法が単純な
三行三列の数値比例で、
縦・横の比率が等しい



三位一体
の象徴

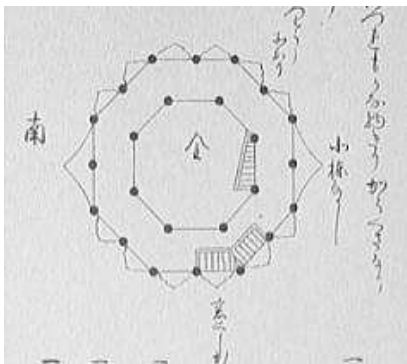
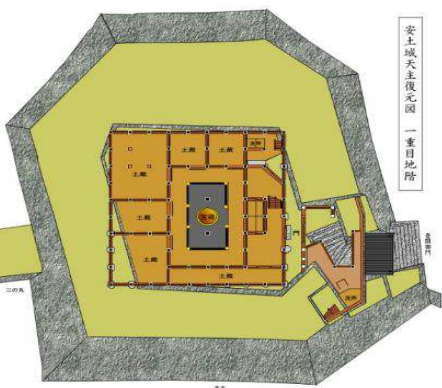
また、この数値を行列式に当てはめると
 $(2 \times 5 \times 15) + (4 \times 9 \times 6) + (4 \times 9 \times 6) - (6 \times 5 \times 6) - (9 \times 9 \times 2) - (4 \times 4 \times 15) = 0$ となる。

このことから三位一体の象徴
を表すことが考えられる。

調査3 8という数が表す意味

- 古来より日本では2の立方である8はすべての方位や広がりを表わす数として好まれた。
- 旧約聖書の創世記では、8は救いを表す象徴数でもある。
- 聖書のヘブライ語とギリシャ語をカバラ数秘術で数字に置き換えると、イエス・キリストは「888」となる。また、日本や中国では八角形の建築物が多く存在する。
→興福寺南円堂、法隆寺夢殿、天寧寺

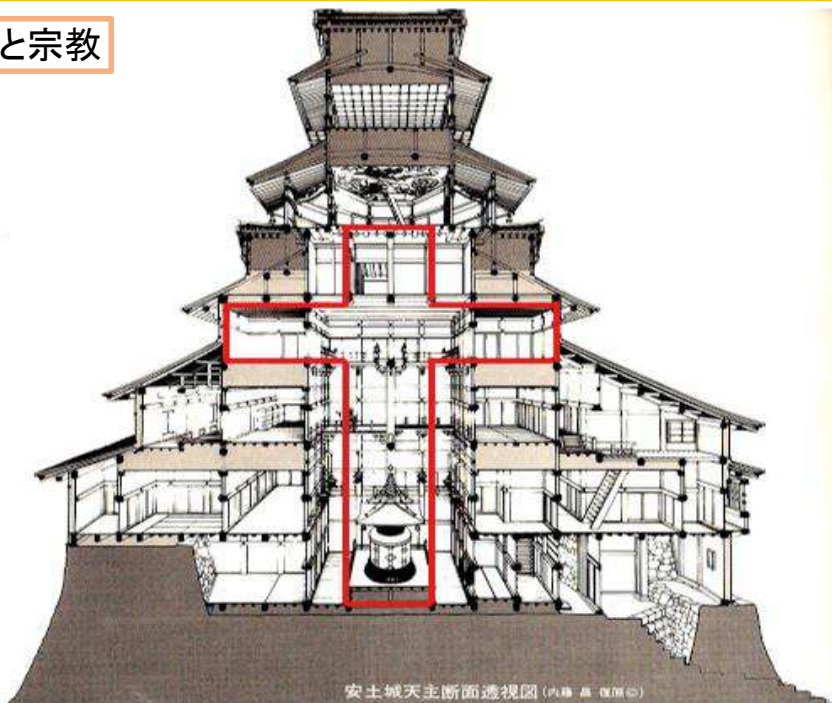
安土城研究



安土城天主指図六重目

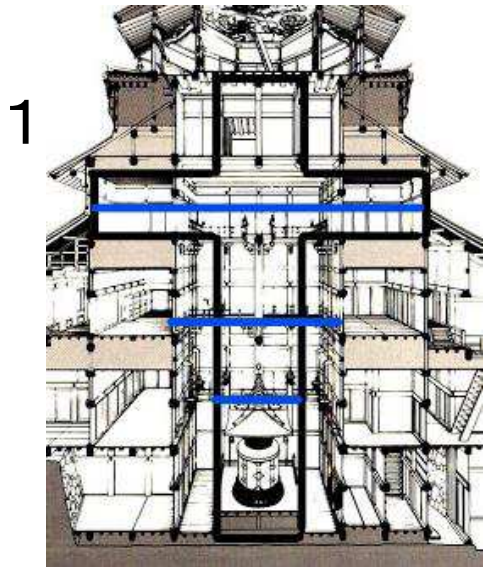
特徴 八角形天守・天守内壁画・多宝塔・吹き抜け

安土城と宗教

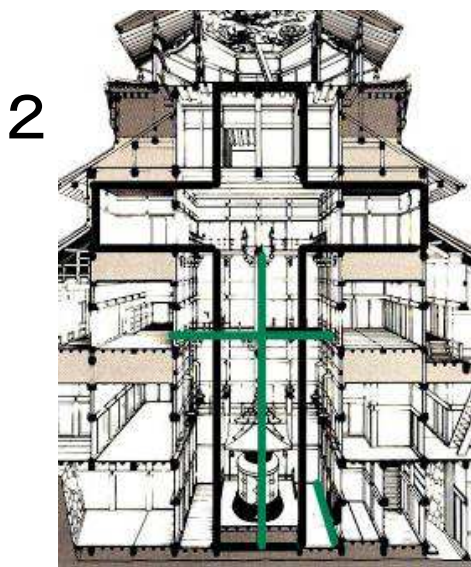


安土城天主断面透視図(内藤 昌 復原図)

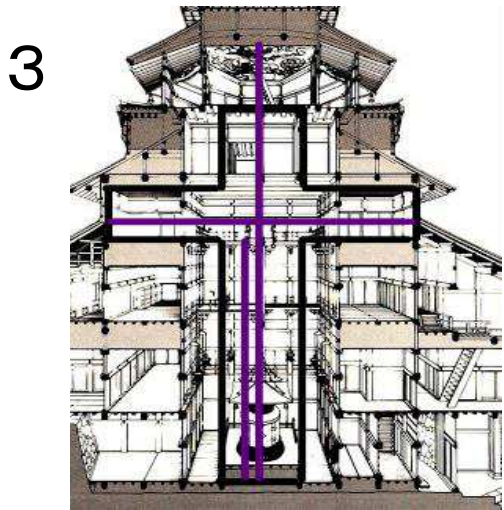
安土城断面図を調べると吹き抜け部分を
中心とする**十字架**の存在が確認できる。
→キリスト教の影響か？



1



2



3

1.5 : 3.0 : 6.0
3.0 : 4.5 : 5.0
6.0 : 5.0 : 9.0

1. 身廊全幅 : 側廊込の身廊部全幅 : 袖廊全長
= 1.5 : 3 : 6
2. 側廊込の身廊部全幅 : 奥行(回廊の代わり) : 身廊全長 = 3 : 4.5 : 6
3. 袖廊全長 : 身廊全長 : 教会堂全長 = 6 : 5 : 9

上のように縦・横の比率が等しくなるが、
行列式の値は0にならないことが分かった。

五階の八角形内部には柱に双龍争珠図、外陣に阿鼻地獄図、内陣に釈迦説法図・降魔成道図が描かれており、また最上階の正方形の部屋には、伏羲、神農、黄帝、文王、太公望、周公旦、十哲、孔子が書かれていたとされる。
→一般に中国や日本の思想を意識して作ったと考えられる。



しかし、キリスト教的に考えられないか？

信長に大きな影響を与えたイエズス会の本部(ジェズ教会)には「反逆の天使の敗北」や「魂を煉獄から解放する天使たち」さらには天国、地獄、煉獄を描いたフレスコ画がある。



日本風に解釈

ジェズ教会

天国 → 釈迦の存在
地獄 → 阿鼻地獄図
煉獄 → 降魔成道
天使 → 双龍

安土城

- ジェズ教会の設計は雄大なスケールのドームが特徴！
- このドームを安土城に取り入れようと中を吹き抜けにし、その上に円に近い八角形の部屋を作ったのではないだろうか？
 - 同時にキリスト教建築の代表的な建築法である十字架を中心とした建築を平面図ではなく、断面図の中に、象徴として用いたのではないだろうか？

多宝塔

インドに存在した仏塔は、仏教の自然観や宇宙観に影響されており、その仏塔が日本で発展し、大日如来を具現化した多宝塔となった。インドとの関わりを示すとともに地下から出現する大日如来を象徴しているのではないかと考える。

考察・まとめ

- 信長は天守そのもので生活していた。多宝塔を囲むように十字架がデザインされ、その上に仏教ともキリスト教ともとれる八角形の部屋を作り、その上に中国を象徴した正方形の部屋を作った。キリスト教と仏教、中国思想の上に立つ存在つまり神になるという信長神格化説の裏付けとなるのではないか。
- その当時西洋は、比例や幾何学的思考の強いルネッサンス建築から流動的で内部装飾にこだわるようになったバロック建築へと移り変わる時期である。このような視点からも、安土城はふたつの建築様式を取り入れた、世界でも最先端の象徴的建造物であったと考えられる。

参考文献

- シトー会建築のプロポーシオン 著: 西田雅嗣
- <https://www1.asitaka.com/sasi/sasi6.htm> ・<http://deo.o.oo7.jp/construction/dome/domo.html>
- <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B6%E3%83%B3%E3%82%AF%E3%83%88%E3%83%BB%E3%82%AC%E3%83%AC%E3%83%B3%E4%BF%AE%E9%81%93%E9%99%A2>
- <http://deo.o.oo7.jp/construction/study/Europeanchurch.html>
- <http://kousin242.sakura.ne.jp/wordpress013/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E7%BE%8E%E8%A1%93/%E4%B8%AD%E4%B8%96%E7%BE%8E%E8%A1%93/%E6%A1%83%E5%B1%B1%E3%81%AE%E7%BE%8E%E8%A1%93/2637-2/>
- <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%BA%E6%95%99%E4%BC%9A>
- <http://www2.biglobe.ne.jp/remnant/104seisho.htm>
- 信長の霊廟建築としての安土城：八角形の造形とユリウス二世廟からの考察(神戸大学 原 陽子)

謝辞 本研究は、奈良女子大学生生活環境学部の●●先生にご助言をいただきました。深く感謝申し上げます。